

ブラジル関連会社と協同でディーゼル脱硫・水素回収施設を受注

2022年6月10日
東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社（TOYO、取締役社長 永松 治夫）はブラジル関連会社のトーヨー・セタール・エンブレエンジメンツ（TSE^{*1}）と共に、ブラジル石油公社（Petróleo Brasileiro S.A. ; PETROBRAS、本社：リオデジャネイロ）がヘプラン製油所^{*2}（略称 REPLAN）にて計画している軽油水素化精製装置および水素回収装置の増・新設プロジェクトを受注しました。

PETROBRAS の 2022-2026 年戦略計画の一環である本プロジェクトにより、S-10 ディーゼル油(超低硫黄軽油)^{*3} の生産量は 63,000 bpd 増強され、同製油所で生産されるディーゼル油は全量低硫黄化されることとなります。TOYO と TSE のコンソーシアムは、詳細設計、機器資材調達、建設工事、試運転までの EPC 業務を一括で請け負い、2025 年に完成予定です。

PETROBRAS は製油所の能力増強および温室効果ガス排出量の低減に向け、今後 5 年間で 61 億米ドルの投資を計画しています。TOYO は本プロジェクトを足がかりに後続案件のさらなる受注を目指し、環境負荷の少ない社会の実現に貢献してまいります。

^{*1}TSE：2012年5月に TOYO とブラジル大手エンジニアリング会社 SOG-オレオ・イ・ガス（SOG）がそれぞれ 50%ずつ出資して設立したブラジル法人 TS パーティシパソエス（TSPI）の 100%子会社として、主に陸上設備に係る EPC を実施する事業会社。TSPI は TOYO の持分法適用会社。

^{*2}ヘプラン製油所：1972年5月に設立されたブラジル最大の製油所。処理能力は 434,000bpd

^{*3} S-10 ディーゼル油：脱硫処理により硫黄含有分 10ppm 以下に削減した環境負荷の低い軽油。ブラジルでは 2013 年より導入されている。

受注概要

- 客先： ブラジル石油公社
- 受注者： 東洋エンジニアリングとTSEのコンソーシアム
- 建設地： ブラジル サンパウロ州、パウリニア市
- 対象設備： 軽油水素化精製装置（Diesel Oil Hydrotreating Unit：63,000bpd）
水素回収装置（Hydrogen Recovery Unit：150,000 Nm3/d）
- 役務内容： 詳細設計、機器資材調達、建設工事、試運転の一括請負
- 完成予定： 2025年

既設製油所全体像（パトロプラスホームページより）



<お問い合わせ先>

広報・IR部 [担当：白石、山田] TEL：047-454-1113